

奈良県がん診療連携協議会 分科会報告

- ① 化学療法分科会
- ② 緩和ケア分科会
- ③ 相談支援分科会
- ④ 院内がん登録分科会
- ⑤ 地域連携分科会
- ⑥ 放射線療法分科会

令和 4 年度 奈良県がん診療連携協議会 分科会報告

化学療法分科会

分科会開催日	令和 5 年 3 月 10 日（Web カンファレンス同時開催） • web カンファレンス開催実績報告 • 研修会の開催方法について • がんゲノム医療連携病院指定状況について
令和 4 年度 実績	<u>1. がん薬物療法セミナーの開催</u> ※拠点病院としての事業 がんプロフェッショナル養成プランとしての事業 ○がん薬物療法セミナーの開催 第 5 回 2022 年 9 月 9 日（金）18：00～19：00 • がんゲノム医療における 2 次的所見の取り扱い がんゲノム・腫瘍内科学 講師 中野 雄介 • がんゲノム医療における遺伝カウンセラーの役割 奈良県立医科大学遺伝カウンセリング室 認定遺伝カウンセラー 増井 薫 第 6 回 2023 年 3 月 2 日（木）17：00～17：50 • 小児がんの現状と長期フォローアップ 小児科 講師 石原 卓 <u>2. 多地点 web カンファレンスの実施</u> 各医療機関における実際の症例を基に、症例検討を行った。 内容によっては関係診療科の医師が参加し、内容の充実化を図った（計 4 回・次々ページ参照） <u>3. 化学療法医療チーム研修会の開催</u> 令和 4 年 11 月 20 日実施 4 病院 19 名参加（奈良医療センター、大和高田市立病院、済生会中和病院、奈良県総合医療センター）

来年度の予定	<u>1. がん薬物療法セミナーの開催</u> <u>2. 定期的に多地点 web カンファレンスを開催</u> 関係部門の医師、薬剤師、看護師など多職種の参加を促し、さらなる内容の充実化を図る。 <u>3. 化学療法医療チーム研修会の開催</u> 県内のレベルアップを目標に、チーム研修会を開催予定（オンライン開催を検討）。
その他	分科会の委員を中心に行っている自主研究グループ「奈良がん医療研究会（まほろば塾）」を年2回、継続して開催する予定である。

化学療法分科会実績

令和4年度 化学療法 web カンファレンス

第1回	6月30日(木)	「横行結腸癌肺転移に対する化学療法中に小細胞癌胸膜転移が出現した1例」 【国保中央病院 杉森 志穂 先生】	・奈良医大附属病院 ・近大奈良病院 ・市立奈良病院 ・天理よろづ相談所病院 ・南奈良総合医療センター ・大和高田市立病院
第2回	9月15日(木)	びまん性大細胞性B細胞性リンパ腫(DLBCL)の再発が疑われた平滑筋肉腫の一例 【済生会中和病院 内科 星野 永 先生 研修医 松浦 直人 先生】	・奈良医大附属病院 ・近大奈良病院 ・市立奈良病院 ・天理よろづ相談所病院 ・南奈良総合医療センター ・大和高田市立病院
第3回	12月7日(水)	組織診断が確定せず治療に苦慮した子宮腫瘍の1例 【大和高田市立病院 梶原 宏貴 先生】	・奈良医大附属病院 ・近大奈良病院 ・市立奈良病院 ・天理よろづ相談所病院 ・南奈良総合医療センター ・大和高田市立病院
第4回	3月10日(金)	やってみて良かった、がん遺伝子パネル検査 ～ 一外科医が経験した症例と連携強化に向けた南奈良での取り組み～ 【南奈良総合医療センター 西和田 敏 先生】	・奈良医大附属病院 ・近大奈良病院 ・市立奈良病院 ・天理よろづ相談所病院 ・南奈良総合医療センター ・大和高田市立病院

令和 4 年度 奈良県がん診療連携協議会 分科会報告

緩和ケア分科会

分科会開催日	3/7（火）18：00～WEB 開催																																	
令和 4 年度 実績	① まほろば PEACE 緩和ケア研修会 計 10 回 （県内拠点病院、地域がん診療病院、支援病院で開催）																																	
	<table><tr><th>開催医療機関</th><th>開催日</th><th>参加者数</th></tr><tr><td rowspan="4">奈良県立医科大学附属病院</td><td>6 月 26 日</td><td>31</td></tr><tr><td>9 月 25 日</td><td>27</td></tr><tr><td>12 月 18 日</td><td>32</td></tr><tr><td>1 月 29 日</td><td>13</td></tr><tr><td>奈良県総合医療センター</td><td>2 月 19 日</td><td>30</td></tr><tr><td>市立奈良病院</td><td>7 月 10 日</td><td>26</td></tr><tr><td>近畿大学奈良病院</td><td>8 月 7 日</td><td>23</td></tr><tr><td>天理よろづ相談所病院</td><td>9 月 4 日</td><td>18</td></tr><tr><td>南奈良総合医療センター</td><td>10 月 29 日</td><td>19</td></tr><tr><td>国保中央病院</td><td>12 月 4 日</td><td>18</td></tr><tr><td colspan="2">合計</td><td>237</td></tr></table>	開催医療機関	開催日	参加者数	奈良県立医科大学附属病院	6 月 26 日	31	9 月 25 日	27	12 月 18 日	32	1 月 29 日	13	奈良県総合医療センター	2 月 19 日	30	市立奈良病院	7 月 10 日	26	近畿大学奈良病院	8 月 7 日	23	天理よろづ相談所病院	9 月 4 日	18	南奈良総合医療センター	10 月 29 日	19	国保中央病院	12 月 4 日	18	合計		237
	開催医療機関	開催日	参加者数																															
	奈良県立医科大学附属病院	6 月 26 日	31																															
		9 月 25 日	27																															
		12 月 18 日	32																															
		1 月 29 日	13																															
	奈良県総合医療センター	2 月 19 日	30																															
	市立奈良病院	7 月 10 日	26																															
	近畿大学奈良病院	8 月 7 日	23																															
	天理よろづ相談所病院	9 月 4 日	18																															
	南奈良総合医療センター	10 月 29 日	19																															
	国保中央病院	12 月 4 日	18																															
合計		237																																
② 看護師に対する研修会（ELNEC-J）の開催 主 催：奈良県立医科大学附属病院 方 法：Web 開催（ファシリテーターは会場、受講生は Web 参加） 内 容：エンド・オブ・ライフ・ケア（EOL ケア）や緩和ケアを提供する看護師に必須とされる能力修得のための系統的な教育プログラム 開催日：11 月 5 日（土）、6 日（日） 参加者：県内でがん診療に携わる看護師 14 名																																		
③ がん性疼痛管理を中心とした緩和ケアに関する研修会（病診連携）の開催																																		
④ 緩和ケア普及啓発（県民公開講座等）の実施																																		
⑤ 緩和ケアチーム研修会の開催																																		
⑥ 緩和ケア地域連携カンファレンスの開催																																		
※③～⑥の取組は次ページ参照。																																		
来年度の予定	①まほろば PEACE 緩和ケア研修会の開催 ②緩和ケアに関する研修会や普及啓発活動の実施																																	

令和4年度 奈良県がん診療連携協議会（緩和ケア分科会） 取組報告

◆在宅緩和ケア地域連携事業「がん性疼痛管理を中心とした緩和ケアに関する研修会」【原則必須】

医療機関名	内容
奈良医大	2022/2/23 テーマ「非薬物療法のスペシャリストに聞く症状緩和」 参加者：76名
奈総医セ	2023/1/7 テーマ「アドバンス・ケア・プランニングとは、明日からの実践につなげよう」参加者：22名
市立奈良	2023/3/23開催予定 テーマ「切れ目のないがん医療を目指すには」参加申込者：外部20名+院内
近大奈良	2023/1/26（第10回がん地域連携ケースカンファレンス） 参加者：69名
天理よろづ	2023/11/30開催 テーマ「かかりつけ医として、在宅医として、私たちは何かできるか、またがん治療病院に何を期待するか」参加者：117名
南奈良	2023/2/16 テーマ「地域における緩和ケアを考える」参加者：10名

◆緩和ケアの情報提供・普及啓発（県民公開講座等）【必須要件】

指針Ⅱ5（3）③/Ⅵ5（3）：地域を対象として、緩和ケアやがん教育、患者向け・一般向けのガイドラインの活用等に関する普及啓発に努めること。

医療機関名	事業内容
奈良医大	2023/3/5開催予定 テーマ「Advance Care Planning（アドバンス・ケア・プランニング）～自分らしく生きるため、誰と何について話し合っておけばよいでしょうか～」参加申込者：193名
奈総医セ	2022/9/17（緩和ケア普及啓発事業県民公開講座） テーマ「がん治療の進歩」 参加者：142名
市立奈良	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
近大奈良	2022/11/10（第39回生駒緩和医療研究会） テーマ「OIC（オピオイド誘発性便秘症）について」、「地域医療とがん治療病院をシームレスに繋ぐ連携の工夫の一提案」 参加者60名
天理よろづ	11/1～1/16（一般市民対象講演会【ホームページに動画を公開】） テーマ「乳がんの診療～進歩と課題～」視聴回数：31回
南奈良	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

◆当該都道府県においてがん診療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師・薬剤師・看護師等に対する研修の実施について

指針Ⅳ1（1）当該都道府県においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師・薬剤師・看護師等を対象とした研修を実施すること。（必須要件）〔奈良医大のみ〕

医療機関名	事業内容
奈良医大	2022/9/4開催 奈良県緩和ケアチーム研修会 テーマ「緩和ケアチームの介入目標と主診療科のニーズが異なるとき」～あなたなら多様化するニーズにどのように応えますか？～ 受講者：9名

◆緩和ケア地域連携カンファレンス

指針Ⅳ3（1）④ 地域の病院や在宅療養支援診療所、ホスピス・緩和ケア病棟等の診療従事者と協働して、緩和ケアにおける連携協力に関するカンファレンスを月1回程度定期的開催すること（必須要件）〔奈良医大のみ〕

医療機関名	事業内容
奈良医大	2022/4/1～2023/2/28 緩和ケア地域連携カンファレンス 計10回実施 参加者：157名（累計）

令和 4 年度 奈良県がん診療連携協議会 分科会報告

相談支援分科会

分科会 開催日	令和 4 年 6 月 28 日 (火) ・ 令和 4 年度のがん相談支援センター活動計画 ・ 令和 3 年度がん相談支援センター利用状況調査結果報告 ・ 令和 4 年度奈良県相談員研修会の開催について 等 令和 5 年 3 月 20 日 (月) ・ 第 19 回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会情報提供・相談支援部会の報告 ・ 令和 4 年度がん相談支援センター活動報告、次年度活動計画 ・ 令和 4 年度奈良県がん相談支援従事者研修会報告 等
令和 4 年度 実績	1. 治療と仕事両立支援の継続 ① 社会保険労務士の就労相談の継続実施 4 医療機関で実施 ・ 奈良医大 11 回実施、利用者 16 名 ・ 県総合 利用者 4 名 ・ 市立奈良 3 回実施、利用者 5 名 ・ 天理よろづ 1 回実施 ② 産業保健総合支援センター(両立支援促進員)との連携 → 実績なし ③ 長期療養者就職支援事業(ハローワーク出張相談) ・ 奈良医大 45 回実施、利用者 22 名 ・ 県総合 23 回実施、利用者 17 名 ・ 天理よろづ 1 回実施 近大奈良 1 回連携 ③ 療養・就労両立支援指導料に関する院内への周知、指導料算定に至った相談事例の病院間での共有 ・ 近大奈良 指導料算定実績 初回 5 件、2 回目以上 1 件 各病院でも周知や相談者への情報提供は継続。相談員や社会保険労務士からの助言により相談者自身が解決に至る事例も多い。 2. 県内のがん相談員のスキルアップ ① 奈良県がん相談支援従事者研修会の開催(Ⅲ群登録申請) 『相談対応の質保証(QA 研修)』 ・ 開催日：令和 5 年 2 月 11 日(土)12:30～17:00 オンライン開催 ・ 講師：九州がんセンター 松尾由佳先生 ・ オブザーバー：国立がん研究センター 志賀久美子氏 ・ 受講生：15 名 ② がんゲノム医療研修(Ⅲ群登録申請なし) 『がんゲノム医療の現状と、遺伝子パネル検査における二次的所見の実際について学ぶ』 ・ 開催方法：講義動画のオンデマンド配信形式 ・ 配信期間：令和 5 年 2 月 13 日～2 月 28 日 ・ 参加者：申込者 52 名、アンケート回答者 36 名 ③ 国立がん研究センターの相談員指導者研修参加要件を満たす相談員の育成(相談員基礎研修Ⅲ、相談対応の質保証研修の受講) ・ 相談員基礎研修Ⅲ 2 名受講 ・ ①の開催により、県内拠点病院相談員 19 名(ファシリテーター含む)が受講修了証発行対象となる 3. コロナ禍における患者サロン運営、患者会・患者団体との連携方法の検討 ① ピアサポーター、患者会との連携方法、Web 活用について検討 ・ 4 医療機関で対面にてピアサポーターを交えてサロン運営者会議を実施 ② 患者サロンの運用充実 コロナ禍でのサロン運用のあり方検討 ・ 奈良医大、県総合、市立奈良、天理よろづにて感染対策を講じて対面で開催 ・ 近大奈良では WEB で 4 回(うち 1 回ハイブリッド)で開催

	4. AYA 世代・小児がん患者・家族支援体制の整備 ①サロン・交流会の実施 各医療機関で実施 コロナ禍での運用のあり方検討 ・交流会の開催実績はないが、妊孕性温存に関する勉強会や就労・アピアランスケアに関する情報提供を行っている ②奈良医大に妊孕性温存相談窓口を設置(医療者からの問合せに対応)→問合せなし ③病気療養中の高校生への学習支援(他府県の取り組みから学ぶ) ・現状、相談があっても連携先や支援方法が不明確であるため、どこと連携をするのか明確にする必要がある。 5. 相談支援センターの院内職員への周知と相談機能の強化 ①院内職員から相談支援センターに紹介される体制の整備 国立がん研究センター作成の冊子「がんと診断されたあなたに知ってほしいこと」の活用 ②患者からの相談に対し、適切に対応できるよう、院内の関連部門及び担当者と協働できる体制の整備等 ・①②について、各医療機関で関連部門とのカンファレンス実施やニュースレター作成、ポスターやリーフレットの設置などを実施。また院内で開催される研修会での講義にて周知活動を行ったり、職種や診療科の特徴に応じた対応を実施されている医療機関あり。
令和5年度活動計画	1. 治療と仕事両立支援の継続 ①社会保険労務士の就労相談の継続実施〔各医療機関で実施〕 ②ハローワーク・産業保険総合支援センターとの連携の継続 ③療養・就労両立支援指導料に関する院内への周知、指導料算定に至った相談事例の病院間での共有 2. 県内のがん相談員のスキルアップ ①奈良県がん相談員研修会の開催 ②国立がん研究センターの相談員指導者研修受講 3. アフターコロナにおける患者サロン運営、患者会・患者団体との連携方法の検討 ①ピアサポーター、患者会との連携方法について検討 ②患者サロンの運用充実 アフターコロナにおけるサロン運用のあり方検討 コロナの感染症法上の分類が変更となる見込みではあるが、感染による重症化リスクの高い方が安心して参加できるよう、感染対策と開催方法、開催頻度や参加人数の拡大等のバランスを考慮しながら開催。 4. AYA 世代・小児がん患者・家族支援体制の整備 ①サロン・交流会の他、患者数が多くないAYA 世代・小児がん患者と家族が孤立しない支援方法を検討。若年世代にもがん相談支援センターを周知できる方法を検討。 ②奈良医大に妊孕性温存相談窓口を設置(医療者からの問い合わせに対応) ③病気療養中の高校生への具体的な学習支援の方法について、奈良県疾病対策課や教育委員会と連携して検討 5. 相談支援センターの院内職員への周知と相談機能の強化 ①外来初診時から治療開始までを目途に、がん患者及びその家族が必ず一度はがん相談支援センターを訪問(必ずしも具体的な相談を伴わない、場所等の確認も含む)することができる体制の整備 国立がん研究センター作成の冊子「がんと診断されたあなたに知ってほしいこと」の活用など、医療機関の実情に応じた対応を実施。分科会等で好事例を共有。 ②患者からの相談に対し、必要に応じて速やかに院内の診療従事者が対応できるよう、病院長もしくはそれに準ずるものが統括するなど、がん相談支援センターと院内の診療従事者が協働する体制を整備

令和 4 年度 奈良県がん診療連携協議会 分科会報告

院内がん登録分科会

分科会開催	<u>院内がん登録分科会</u> メールにて開催 令和 5 年 3 月 1 日（水） ・都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会報告 ・がん登録研修会開催報告・情報提供等 ・奈良県院内がん登録 2019－2021 年集計報告および 2019－2021 年症例 5 大がん等集計報告
令和 4 年度 活動実績	<u>がん登録データの集計および分析</u> ・奈良県院内がん登録 2019－2021 年集計・分析（奈良医大） ・2019－2021 年症例 5 大がん等集計・分析（奈良医大） <u>院内がん登録分科会 がん登録研修会</u> 「令和 4 年度 がん登録担当者研修会」 共催：奈良県がん対策推進協議会 がん登録部会 日時：令和 5 年 1 月 28 日（土）13：00～16：30 場所：Web 開催 受講者：25 施設 34 名（県内のがん登録担当者等） 第 1 部 大腸がん診療について：統計から診断・治療まで 講師：奈良県立医科大学附属病院 中央内視鏡部 小山 文一先生 第 2 部 肝がんの疫学・診断・病気分類・治療 講師：奈良県立医科大学附属病院 中央放射線部 佐藤 健司先生 奈良県からの情報提供（資料提供）
来年度の予定	<u>令和 5 年度活動予定</u> ・令和 5 年度院内がん登録分科会 がん登録研修会開催（年 1～2 回） ・院内がん登録分科会開催（年 1 回）

奈良県がん診療連携拠点病院等 院内がん登録2019-2021年集計報告

出典 国立がん研究センターがん情報サービス「院内がん登録全国集計」

奈良県がん診療連携拠点病院等 院内がん登録2019-2021年症例 5大がん集計報告

出典 国立がん研究センターがん情報サービス「院内がん登録全国集計」

令和 4 年度 奈良県がん診療連携協議会 分科会実績

地域連携分科会

分科会開催日	2023/3/14（火）～17（金） メール実施
令和 4 年度 実績	〈実績〉 ○ 緩和ケア分科会と共同で、研修会を開催 2023/2/23 14:00～16:00 WEB 在宅緩和ケア地域連携研修会 参加者 76 名 テーマ 「非薬物療法のスペシャリストに聞く症状緩和」 ・緩和的放射線治療 奈良医大 放射線治療科 浅川勇雄 先生 ・緩和の IVR 奈良医大 放射線・核医学科、IVR センター 西尾福 英之 先生 ・ブロック治療と慢性疼痛外来 奈良医大 ペインセンター 渡邊 恵介 先生 ○ 地域連携クリティカルパスの運用 →乳がん、（がん以外では脳卒中） 次ページ参照：県庁からのパス運用実績データ ○ 口腔外科症例に対し、周術期サポートを実施継続
令和 5 年度 予定	〈来年度予定〉 ○ 緩和ケア地域連携情報提供書の運用 ○ 地域連携クリティカルパスの運用 →乳がん、（がん以外では脳卒中） ○ 緩和ケアと分科会と共同で研修会を実施 ○ 口腔外科症例に対し、周術期サポートを実施継続

地域連携クリティカルパス患者数

(がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院)

◆県内統一パス適応患者数

令和3年度実績 (R3.4.1～R4.3.31)	奈良県立医科大学附属病院		奈良県総合医療センター		天理よろづ相談所病院		近畿大学奈良病院		市立奈良病院		南奈良総合医療センター		国保中央病院		済生会中和病院		大和高田市立病院		合計
	(診療報酬あり)	(診療報酬なし)	(診療報酬あり)	(診療報酬なし)	(診療報酬あり)	(診療報酬なし)	(診療報酬あり)	(診療報酬なし)	(診療報酬あり)	(診療報酬なし)	(診療報酬あり)	(診療報酬なし)	(診療報酬あり)	(診療報酬なし)	(診療報酬あり)	(診療報酬なし)	(診療報酬あり)	(診療報酬なし)	
胃がん(術後補助化学療法あり)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胃がん(術後補助化学療法なし)	0	0	0	0	0	0	23	0	0	0	0	0	0	0	17	0	0	0	40
大腸がん(術後補助療法なし)	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	17	0	0	0	20
大腸がん(術後補助療法 セロータ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大腸がん(術後補助療法 ユーエフティー/ユーセル)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大腸がん(術後補助療法 ティーエスワン)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肝がん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
肺がん(術後補助化学療法あり)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肺がん(術後補助化学療法なし)	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
乳がん	69	0	0	0	0	0	55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	124
合計	69	0	0	0	0	0	83	0	0	0	0	0	0	0	35	0	0	0	187

◆年度別 県内統一パス適応患者数

	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度	
	計		計		計		計		計		計		計		計		計		計	
	診療報酬あり	診療報酬なし	診療報酬あり	診療報酬なし	診療報酬あり	診療報酬なし	診療報酬あり	診療報酬なし	診療報酬あり	診療報酬なし	診療報酬あり	診療報酬なし	診療報酬あり	診療報酬なし	診療報酬あり	診療報酬なし	診療報酬あり	診療報酬なし	診療報酬あり	診療報酬なし
奈良県立医科大学附属病院	20		3		5		29		56		36		75		61		80		69	
	1	19	1	2	4	1	26	3	44	12	26	10	60	15	51	10	75	5	69	0
奈良総合医療センター	28		16		16		15		12		10		16		0		0		0	
	5	23	2	14	4	12	7	8	4	8	7	3	3	13	0	0	0	0	0	0
天理よろづ相談所病院	11		0		0		0		0		0		0		0		0		0	
	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近畿大学奈良病院	50		36		53		65		39		39		20		34		23		83	
	23	27	5	31	53	0	17	48	6	33	1	38	0	20	19	15	21	2	83	0
市立奈良病院	3		0		0		0		0		0		0		0		0		0	
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南奈良総合医療センター											0		1		0		0		0	
											0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
国保中央病院	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	
	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
済生会中和病院					0		13		28		37		33		0		25		35	
					0	0	13	0	28	0	37	0	33	0	0	0	25	0	35	0
大和高田市立病院					0		0		0		0		0		0		0		0	
					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	112		55		74		122		136		122		145		95		128		187	
	43	69	8	47	61	13	63	59	83	53	71	51	96	49	70	25	121	7	187	0

◆病院独自パス適応患者数

令和3年度実績 (R3.4.1～R4.3.31)	市立奈良病院		済生会中和病院		合計
	適応した患者数		適応した患者数		
	(診療報酬あり)	(診療報酬なし)	(診療報酬あり)	(診療報酬なし)	
膀胱がん	0	2			2
前立腺がん	0	0	0	0	0
胃がん(FSD)			0	0	0
合計	0	2	0	0	2

令和 4 年度 奈良県がん診療連携拠点協議会 分科会報告

放射線療法分科会

分科会開催日	第1回 令和4年10月12日（メール会議） 第2回 令和5年 3月 5日（メール会議）																
令和4年度 実績	分科会メール会議の開催： メール会議を開催し、県内の放射線治療体制の確認及び情報共有を行った。今後も、定期的にメール会議を開催し、県内の放射線治療実施施設間の協力関係の強化をさらにすすめて行く予定である。 <u>令和4年度第1、2回放射線療法分科会メール会議</u> 直近1年間のCOVID-19の放射線療法への影響等について、放射線療法分科会メール会議を開催して、情報共有を行った。 （エクセル様式を配布し、各施設の状況を確認中） ・がん患者等の受け入れ体制（病院レベル） ・がん患者数の増減 ・放射線治療患者の受け入れ体制（治療室レベル） ・放射線治療の他院への依頼 ・放射線治療実施関連の体制・対応 ・放射線治療方法の変更（短期照射の導入等） ・COVID-19感染者・疑似・濃厚接触者の治療体制 ・COVID-19感染・疑似・濃厚接触等の治療の有無 ・放射線治療患者数（年間総数）の増減 ・その他 <分科会委員> 敬称略 <table> <tr> <td>奈良県立医科大学附属病院 放射線治療科</td><td>浅川勇雄</td></tr> <tr> <td>奈良県総合医療センター 放射線科</td><td>堀川典子</td></tr> <tr> <td>天理よろづ相談所病院 放射線治療科</td><td>高山賢二</td></tr> <tr> <td>近畿大学奈良病院 放射線科</td><td>岡嶋 馨</td></tr> <tr> <td>済生会中和病院 放射線科</td><td>浅川勇雄（非常勤）</td></tr> <tr> <td>高井病院 放射線科、脳神経外科</td><td>井上和也、長友康</td></tr> <tr> <td>高田市立病院 放射線治療科</td><td>横川正樹</td></tr> <tr> <td>市立奈良病院 放射線科</td><td>森本陽子</td></tr> </table>	奈良県立医科大学附属病院 放射線治療科	浅川勇雄	奈良県総合医療センター 放射線科	堀川典子	天理よろづ相談所病院 放射線治療科	高山賢二	近畿大学奈良病院 放射線科	岡嶋 馨	済生会中和病院 放射線科	浅川勇雄（非常勤）	高井病院 放射線科、脳神経外科	井上和也、長友康	高田市立病院 放射線治療科	横川正樹	市立奈良病院 放射線科	森本陽子
奈良県立医科大学附属病院 放射線治療科	浅川勇雄																
奈良県総合医療センター 放射線科	堀川典子																
天理よろづ相談所病院 放射線治療科	高山賢二																
近畿大学奈良病院 放射線科	岡嶋 馨																
済生会中和病院 放射線科	浅川勇雄（非常勤）																
高井病院 放射線科、脳神経外科	井上和也、長友康																
高田市立病院 放射線治療科	横川正樹																
市立奈良病院 放射線科	森本陽子																

奈良県がん診療連携協議会 放射線療法分科会(令和4年度第2回: 2023/03/05)

2023/03/05現在 概要集計 (取り扱い注意)

病院名	奈良県立医科大学附属病院	奈良県総合医療センター	天理よろづ相談所病院	近畿大学奈良病院	市立奈良病院	高田市立病院	済生会中和病院	高井病院
診療科名	放射線治療科	放射線治療科	放射線治療科	放射線科	放射線科	放射線治療科	放射線科	放射線科 脳神経外科
部門責任者または 連絡担当の分科会委員	浅川勇雄	堀川典子	高山賢二	岡嶋 馨	森本陽子	横川正樹	浅川勇雄(非)	井上和也 長友 康
がん拠点病院等	都道府県がん診療連携拠点病院	地域がん診療連携拠点病院	地域がん診療連携拠点病院	地域がん診療連携拠点病院	地域がん診療連携拠点病院	奈良県がん診療連携支援病院	奈良県がん診療連携支援病院	
<放射線治療のCOVID-19対応等>								
がん患者等の受け入れ体制(病院レベル)	がん診療は原則的に制限していませんが、病床制限等の間接的な影響はあります。	がん診療に制限はありません。入院はまだ制限されていて外来通院枠が満杯状態が続いています。		原則的になし(院内の感染者発生により、一時的に受け入れ停止する病棟がある)	原則的になし(院内の感染者発生により、一時的に受け入れ停止する病棟がある)	原則的になし(院内の感染者発生により、一時的に受け入れ停止する病棟がある)	今のところ制限はありません	原則的になし(院内の感染者発生により、一時的に受け入れ停止する病棟がある)
がん患者数の増減	減少	同様		同様	同様	同様	不明	変化なし
放射線治療患者の受け入れ体制(治療室レベル)	特に変化なし	特に変化なし		特に変化なし	特に変化なし	特に変化なし	特に変化なし	特に変化なし
放射線治療の他院への依頼	なし	なし		なし	なし	なし	なし	なし
放射線治療実施関連の体制・対応	常識的な対応	常識的な対応		ワクチン接種日に関する取決めあり	常識的な対応	常識的な対応	常識的な対応	常識的な対応
放射線治療方法の変更(短期照射の導入等)	特になし	特になし		なし	特になし	特になし	特になし	特になし
COVID-19感染者・濃厚接触者の治療体制	PPE対応で可能	原則治療休止しています。		対応可能	時間変更とPPE対応で可能	時間変更とPPE対応で可能	PPE対応で可能	時間変更とPPE対応で可能
COVID-19感染・疑似・濃厚接触等の治療の有無	あり	なし		あり。	あり(濃厚接触者)	あり	あり(濃厚接触者)	あり
放射線治療患者数(年間総数)の増減	2019年から2021年までは年4%ずつ減少。本年はほぼ横這い。	増加傾向		2022年は2021年よりも微増	やや減少	ほぼ同様	増加	ほぼ同様
その他	2019年 849人 2020年 817人 2021年 783人と減少傾向でしたが、2022年は777人と前年度とほぼ同水準です。 ドライブスルーPCR、ワクチン接種等にしばしば当科医師も派遣しています。	IMRTは約20%で、増加傾向です。2021年度の患者数:577人です。2022年度はもう少し増加します。		2020年 299人 2021年 277人 2022年 309人 IMRT率が上昇傾向。 コロナが理由ではないが、乳腺の短期照射が増加中。	年間治療患者は2021年 181人 2022年 158人とやや減少しています。 COVID19関連では陽性患者の治療休止が数例ありました。	接触者外来など担当することもあります 私を含め職員の感染が数件ありました。治療は継続できましたが。	2019年 75人 2020年 107人 2021年 120人と最近増加傾向でしたが、2022年は88人と減少しております。 非常勤は火・水・金の午前のみです。それ以外の治療時診察や問い合わせなどは診断医の先生方にご協力いただいています。	2020年ガンマナイフ134,リニアック130,陽子線81(合計345人)、 以下は同じ順序で2021年146,122,77(345)、2022年128,110,112(350)です。
<放射線治療機器等>								
リニアック(台数)	3	2	2	1	1	1	1	1
ガンマナイフ(台数)	0	0	0	0	0	0	0	1
陽子線治療装置(台数)	0	0	0	0	0	0	0	1
高線量率小線源治療装置(Ir等)(台数)	1	0	1	0	0	0	0	0
前立腺癌コード永久刺入装置(台数)	1	0	0	0	0	0	0	0
他(台数)	1	0	0	0	0	0	0	0
<放射線治療医等>								
常勤放射線治療担当医数	5	3(4月~2)		3	1	2	0	4
常勤放射線治療専門医数	4	1		2	1	1	0	3
非常勤放射線治療担当医数	1	2		1	1	0	2	1
他								
<その他>								
	乳房の短期照射、婦人科および前立腺癌の高線量率組織内照射が増加しています。	4月から堀川は済生会中和病院に異動予定です。(水:1日、金:午後は、奈良県総合医療センター応援。)			COVID19とは関係なく、乳房の短期照射の割合が増加しています。	乳腺、前立腺の短期照射普及率が気になるところです。	令和5年4月からは堀川典子先生が常勤医師として着任される予定です。	前立腺癌陽子線治療の患者は増えていません。SpaceOAR注入できれば60-66GyE/20-22Frです。